

市が進める取組について

2. 大学連携

大阪大谷大学

金剛地区をフィールドとした
研究・実践

阪南大学

金剛地区をフィールドとした
研究・実践

UR都市機構

リソース（情報・場）提供
民間企業等とのパイプ機能

富田林市

リソース（情報・場）提供
地域等とのパイプ機能

地区住民

金剛地区まちづくり会議
を中心とした住民主体取組



連携 の 概要

【経過/目的】

・金剛地区のエリア価値向上をめざすUR・市と、より進んだ地域/社会貢献、学生への生きた学びの確保をめざす両大学が、地区をフィールドとした4者連携を進め、地区の再生・活性化につなげる

【内容】

- ・両大学による地区をフィールドとした研究・実践
- ・UR・市によるバックアップ
- ・4者によるモニタリングの実施
- ・まちづくり会議等を通じた地域との共有・連携

持続可能な
取組と
なるよう検討

想定 する 効果

【たとえば…】

- ・研究・実践を通じた学生のまちづくりへの参画
- ・学生×地区住民による新たな取組
- ・コミュニティビジネスの創出
- ・地区が抱える課題解決に向けた研究成果の共有

など

エリア価値向上による地区の再生・活性化

※Living Lab :

「生活空間（Living）」「実験室（Lab）」を組み合わせた造語で、一般的には「新しい技術やサービスの開発」、いわゆるオープンイノベーションを「ユーザーや市民が生活する場で行う共創活動」と

R7年度の大阪大谷大学による活動予定

① 子どもの権利普及プロジェクト

人間社会学部 岡島ゼミ

(3回生) 富田林版「こどもまんなか社会」の実現に貢献することを目的とし、「なんでやねん！すごろく」をもちいて意見形成支援を行う。

(2回生) 葛城中学校で子どもの権利授業を行う。(7/9実施)



② 地域商店街活性化プロジェクト

人間社会学部 王地ゼミ

商店街に店を構える経営者をはじめとする商店街関係者へのインタビュー調査を実施する。得られたデータをテキストマイニングの手法を通じて分析することにより、課題の析出と、その解決策を提示する。

【活動予定】

- ・8月後半頃に商店街各店主にインタビュー実施
- ・インタビュー結果を受けて、10月頃わっくcaféにてイベント実施

③ 歩道等における人流測定システムの構築

人間社会学部 中村ゼミ

ゼミで人流測定を行うIoTデバイスを開発し、イベント時や通常時において稼働させてデータを収集したうえで、データの分析を行う。

【想定した効果】

人流測定を通して、地域の活性化の状況の把握や課題の発見に資するデータの獲得が期待できる。

④ 子どもの居場所づくり-KON=ROOMにおけるcontact-squareの取り組み

教育学部 今宮ゼミ

昨年度取り組んだKONROOMにおけるゼミ活動をゼミ以外の学生に広げて、多くのニーズに応えられるよう取組む。3月30日のイベントを振り返り、新たな方向を模索する。

※上記とは別で、杉本ゼミと多文化共生プロジェクトも実施



※昨年度の夏休み宿題を手伝い、ケーキ型貯金箱を作成した様子。

R7年度の大阪大谷大学による活動予定

⑤ 地域の日本人住民と外国人住民との多文化共生サポートプロジェクト

文学部 杉本ゼミ

地域の日本人住民と外国人住民との交流を促すきっかけとなるイベントを関係各所と協働で企画・広報・運営する。

※一部今宮ゼミと協力



⑥ 市の小地域ごとの特徴が分かる資料・教材作成

教育学部 江上ゼミ

昨年度に作成した富田林市の小地域ごとの人口データを表示できる資料について、Google Mapのスポットデータの収集を中心に行い、小地域ごとの特徴を分析できる資料・教材を作成することを目指す。



R7年度の阪南大学による活動予定

① 金剛団地地区で実施されるイベントに参加

経済学部 中西ゼミ

わっくcaféへの出店、金剛マルシェ、プレーパーク、ウォーカブル、各種会議への参加、ウォーキングイベントの企画・実施



② 人流創出による金剛団地および周辺の活性化

経済学部 今城ゼミ

わっくcaféでの「黒亭ラーメン」の提供、金剛マルシェでのタケダハム社ウイナー販売等を、イベントを通して人流拡大を目的とする。

